

令和2年11月16日

全校朝会講話 「縁のパイロン」

全校のみなさん、おはようございます。

先週は、個人面談と読書週間についてお話をしました。どうでしょうか。おうちの人とお話しはしましたか？ 楽しく読書はできましたか？

どんなお話をしたか、どんな本を読んだか、ぜひ担任の先生に教えてあげてくださいね。時間があったら、私にも教えてください。いつでも校長室へどうぞ。

さて、今日は、これ（縁のパイロン）についてお話をします。見たことがある人はたくさんいますね。赤コースで上下校をしている人は、もしかしたら初めて見るかもしれません。これは、学校の北側、幼稚園との間の道の歩道に置いてあります。何のために置いたかということはすぐに分かると思いますが、これは、みなさんの安全を守るためのものです。歩道から車道にはみ出したり、飛び出したりしないようにするためのものです。

でも、このパイロンは、ただの仕切りではありません。もう少し深い意味があります。ここに何と書いてあるでしょう？ 1年生も読めるかな？ 「多聞小PTA」と書いてありますね。PTA というと、「おうちの人たちのこと」と思うかもしれません、実はそうではないのです。高学年の人なら分かると思いますが、PTA というものは、おうちの人と先生方の集まりです。少し難しい言葉でいうと、おうちの方と先生方でつくる組織、ということになります。

このパイロンには、「多聞小PTA」と書いてあります。このパイロンは、「みなさんのおうちの方と学校の先生方は、いつも力を合わせてみなさんを見守っているよ。」ということを表す一つの形でもあるのです。だから、このパイロンを見たら、「あ、そうだ、自分はとてもたくさんの人から見守られているんだ。」ということを思い返してください。間違っても、この周りでふざけようなどという気持ちをもってはいけません。

私は、よく「自分の命は自分で守る」ということを言います。学校で一番大切なのは、間違いなく、みんなの命です。そして、みんなが自分の命を守る行動をするために一番重要なのは、みんなの心です。だから、学校では、先生方や主事さん方がみんなの心を育てようと一生懸命にがんばっているのです。

このパイロンを見たら、自分がとてもたくさん的人に見守られていることを思い出してください。そして、その大切な命は、自分で守るのですよ。

さらに、自分を見守ってくれている人への感謝の気持ちをもつということもできたら、すばらしいですね。

これでお話を終わります。